

モニタリングプロット設定説明書

区域の概要

下モ中山団地は1972年に植栽されたスギとヒノキの38年生、上ミ中山団地は1974年に植栽されたスギとヒノキの36年生の林分であり、滝本川の本流と支流とに挟まれた北向きと東～南東向きとの2つの斜面で構成されている。

また、団地は当公社の経営する他地域と比較して作業道の整備が進んでいる。(オルソ画像等参照)

下中山団地に①～④、上中山団地に⑤～⑧のプロットを設定。

プロット①：スギ38年生、別紙位置図参照

下中山団地の38年生林のスギ林分はスギの適地である谷部や裾野部分の3地区に植栽されている。いずれの箇所も面積は狭く作業道等から近いために、比較的面積が広く作業道が間伐時に開設された林分の中央部分に設定。

プロット②：ヒノキ38年生、別紙位置図参照

下中山団地の38年生ヒノキ林は南東向きの斜面全面に植栽されている。そのうち当団地で一番早く開設(平成2年)した基幹作業道下部(山腹下部)が同一の条件と推定できるので、そのほぼ中央部分に設定。

プロット③：ヒノキ38年生、別紙位置図参照

プロット②の上半分で比較的緩斜面となる南向きの斜面の中央部に設定。

プロット④：ヒノキ38年生、別紙位置図参照

38年生ヒノキ林分で団地の尾根部先端に位置するエリアで土壌条件が乾燥しているエリアとして設定。

プロット⑤：スギ36年生、別紙位置図参照

上ミ中山団地の36年生のスギ林は団地最奥で0.8Haほどの谷沿いの縦長のエリアである。その中央部で谷沿いに幅25m、奥行き30mのプロットを設定。

上ミ中山団地のスギ36年生林分のほぼ中央部に設定。

プロット⑥：ヒノキ36年生、別紙位置図参照

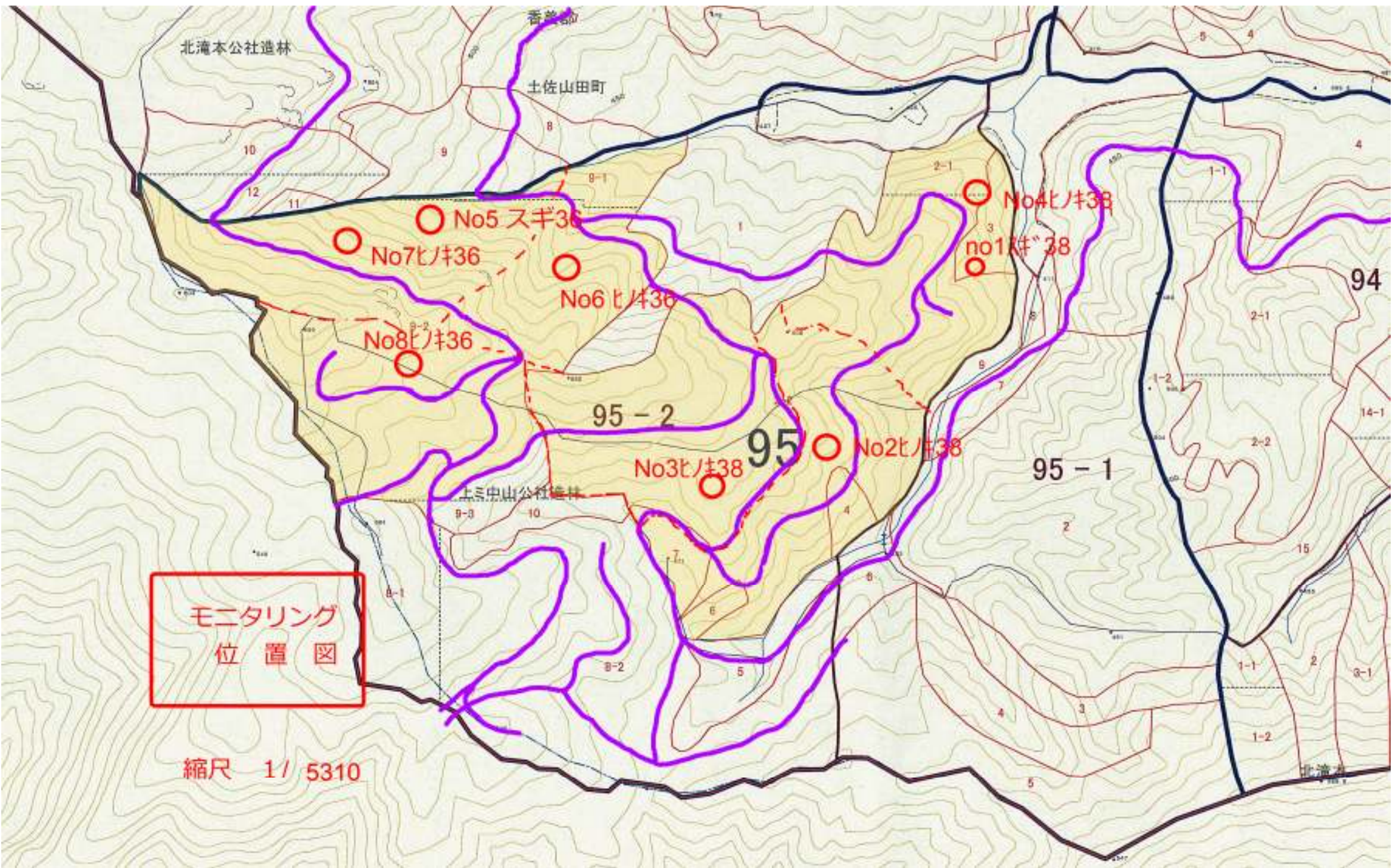
上ミ中山団地の36年生のヒノキ林地は北向きの急斜面部分と団地上部の南東向きの緩斜面とに二分できるが、このうち北向きの斜面の東半分の中央部に設定。

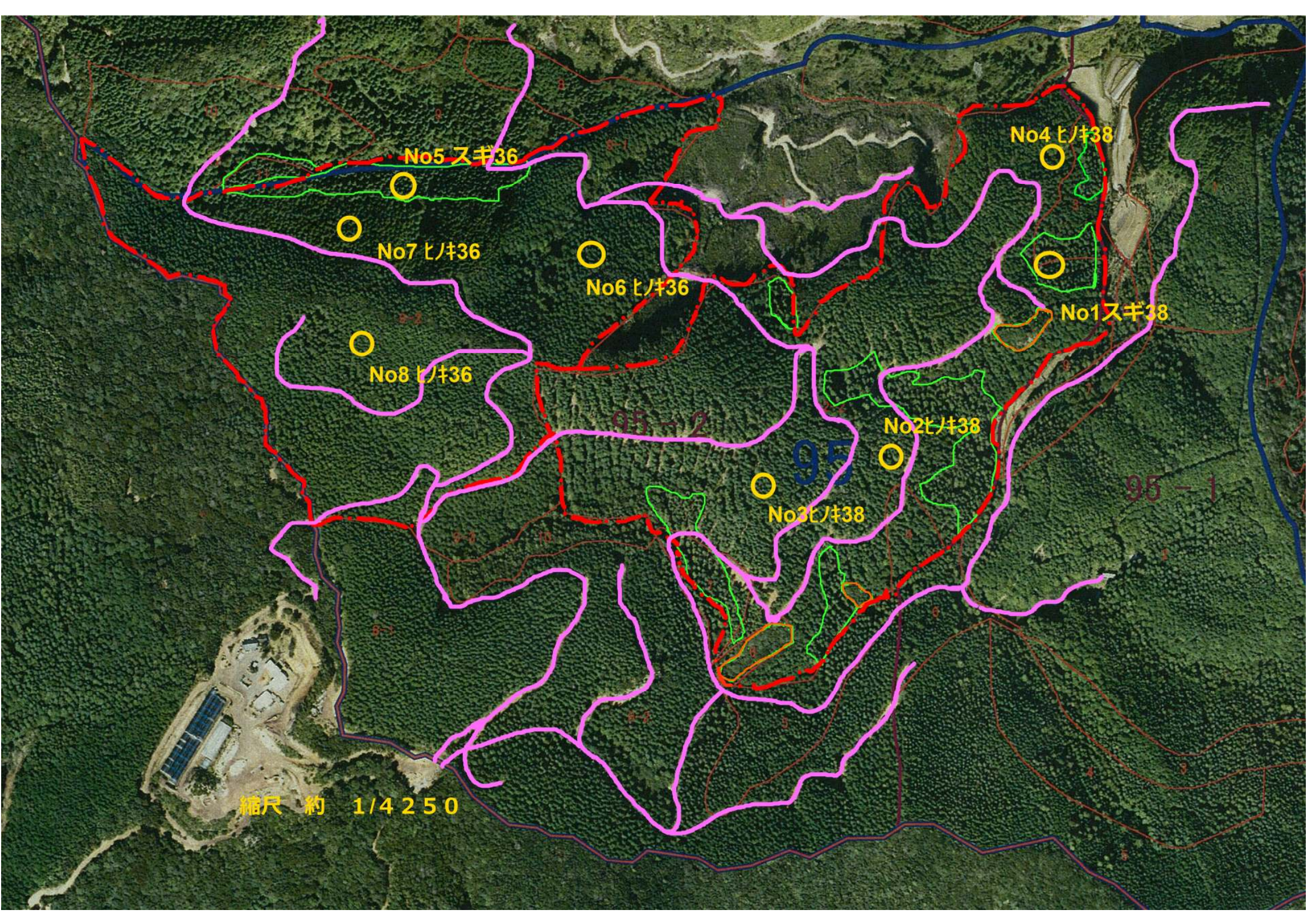
プロット⑦：ヒノキ36年生、別紙位置図参照

⑥の隣で北向き斜面の西半分の中央部に設定。

プロット⑧：ヒノキ36年生、別紙位置図参照

上ミ中山団地の36年生のヒノキ林地は北向きの急斜面部分と団地上部の南東向きの緩斜面とに二分できる。このうち地位級が低いと考えられる南東向きの上部緩斜面の部分に設定。





No5 スギ36

No4 ヒノ38

No7 ヒノ36

No6 ヒノ36

No1 スギ38

No8 ヒノ36

No2 ヒノ38

No3 ヒノ38

縮尺 約 1/4250